

診断と治療

診断

本人や家族への問診、知能テスト、画像診断、血液検査などの結果を総合的にみて、診断がされます。日々の生活の様子や、いつ頃から症状が出始めたか…などの情報も診断の際に必要なとなりますので必ずご家族の方と一緒に病院に行くようにします。



ご本人もしくはご家族の方で、「もしかしたら認知症かもしれない」と思い当たることがありましたら、早めに医師に相談しましょう。かかりつけの病院で気になることを相談するのもよいでしょう。「もの忘れ外来」など認知症を専門に診察する医師もいます。

治療

現在ではまだ認知症を治すことはできませんが、治療やケアにより症状の進行を軽くしたり遅らせることができます。また、早めに治療を開始するほど、治療効果が高いことがわかっています。認知症の治療においては、早期からの適切な治療が大切です。

治療の3本柱

薬物療法

症状の進行を遅らせて、もの忘れや判断力の低下を改善させる効果が期待できます。

非薬物療法

脳を活性化させる目的で、回想法や音楽療法などがおこなわれます。

介護(ケア)

ご家族や介護者、地域によるサポートも重要です。デイケアやヘルパーなどの福祉サービスを利用するのもよいでしょう。



認知症における治療の目標は、症状の進行を遅らせて患者さんのQOLを維持することです。ご家族や介護者は、治療は病気を治すものではないことを理解したうえで患者さんの治療に対する意欲を導きだすことが重要です。